

# 経営比較分析表（令和5年度決算）

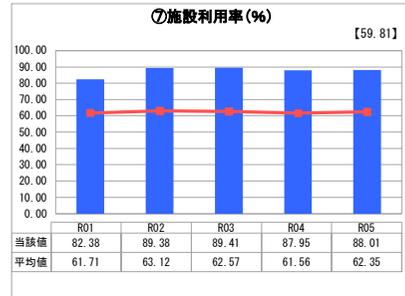
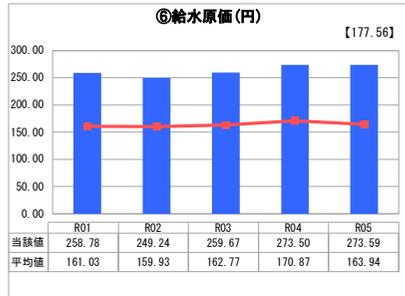
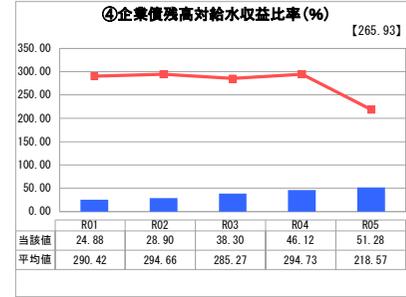
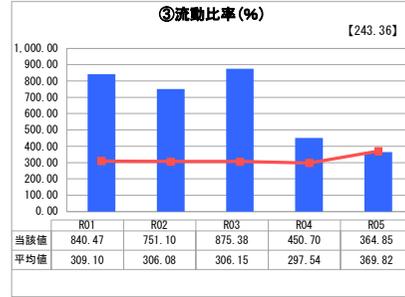
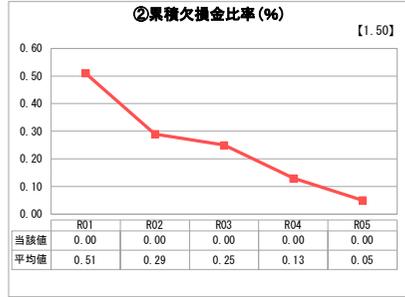
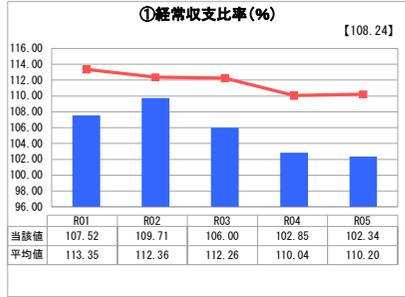
千葉県 山武郡市広域水道企業団

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A3	自治体職員
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金 (円)	
-	90.94	91.70	4,306	

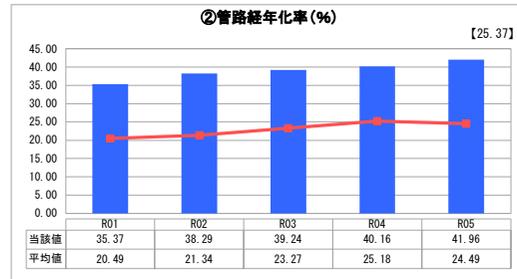
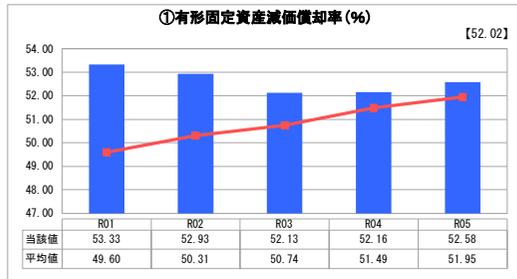
人口 (人)	面積 (km <sup>2</sup> )	人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
-	-	-
現在給水人口 (人)	給水区域面積 (km <sup>2</sup> )	給水人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
149,775	299.93	499.37

グラフ凡例	
■	当該団体値 (当該値)
—	類似団体平均値 (平均値)
□	令和5年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は、全国平均、類似団体平均値を下回っているが、従来から事業の効率的運営に努めてきた結果、100%を上回っており良好といえる。  
 ② 累積欠損金比率は、0%であり良好といえる。  
 ③ 流動比率は、全国平均を上回っており、類似団体平均値と同水準であるため、1年以内の債務に対する支払能力は良好といえる。  
 ④ 企業債残高対給水収益比率は、全国平均、類似団体平均値を大幅に下回っており良好といえる。  
 ⑤ 料金回収率は、全国平均、類似団体平均値を下回っており、給水収益だけでは水道事業費用を賄っていないことから、構成市町や千葉県からの高料金対策補助金により収入を確保している。  
 ⑥ 給水原価は、全国平均、類似団体平均値を上回っており、その主な要因は、水源に乏しい地域特性によって水源開発に多額の投資を行ってきた用水供給事業体に支払う受水費が他の地域より割高となっていることにある。  
 ⑦ 施設利用率は、全国平均、類似団体平均値を上回っており、効率的に施設が利用されているといえる。  
 ⑧ 有収率は、全国平均、類似団体平均値を下回っており、その主な要因は、漏水件数が増加していることにあることから、漏水を早期に発見・修繕するとともに漏水多発路線の更新を計画的に実施している。

### 2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は、全国平均、類似団体平均値を上回っており、その主な要因は、法定耐用年数を経過した水道施設が多いことにあることから、水道施設の改修や、配水管の更新を計画的に実施している。  
 ② 管路経年化率は、全国平均、類似団体平均値を上回っており、その主な要因は、創設時に布設した法定耐用年数を経過した配水管が多いことにあることから、災害に備え基幹管路や重要給水施設配水管の耐震化を優先的に実施している。  
 ③ 管路更新率については、全国平均、類似団体平均値を下回っており、その主な要因は、近年の物価高騰に伴う資材の高騰により更新事業費が増加していることにあることから、財源調達方法を検討し、今後も配水管の更新を計画的に実施する必要がある。

### 全体総括

当企業団の給水区域を含む九十九里地域では、良質な豊富な水源が無く遠い利根川に水源を求めていることから、用水供給事業体である九十九里地域水道企業団の用水供給料金は、県内の一部の地域より割高となっており、水道料金を押し上げる要因となっている。このため、構成市町や千葉県から補助金を受け水道料金を抑制している状況である。  
 現在、千葉県が進めている用水供給事業の統合・広域化による経営の健全化に期待していたが、今後も用水供給料金は上昇する見込みとなったことから、経営状況を見極めながら給水収益などの収入確保を検討していく。  
 また、引き続き、施設利用率の高い状態を維持するとともに、老朽化した水道施設の更新を計画的に実施していく。